



Subaru

昴

男声合唱団

ニュースNo.591

‘16. 11. 22

## 次回コンサートへ向けて心新たに！

11月18日

□ 11月18日（金）の定例レッスンは、佃さんの体操、千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、森二三さんのピアノで、本並先生指揮で「このみち」、伊藤副指揮者の指揮で「さとうきび畑」、再び、本並先生の指揮で、「君死にたまふことなけれ」と「花のうた」の4曲をレッスンしました。参加は全35名でした。



□ レッスンに先立ち技術部ミーティングが開かれ、日本のうたごえ In 愛媛での銅賞受賞を振り返り、また、次回コンサートの会場やステージ構成案を中心に話し合いが持たされました。

□ 次回コンサートで取り上げるほぼ確定的な曲として、上記4曲が、早速今日のレッスンに取り上げられました。来年12月までに20曲ぐらいをマスターしなければなりませんが、そんなに時間的なゆとりはありません。今日をスタートに次回コンサートへ向けて、また心新たに取り組んで行きましょう。

□ 「このみち」；金子みすず詞、石若雅弥作曲の「このみち」、ひとりぼっちの榎や、蓮池の“かえろ”や、寂しそうな案山子とみんなで一緒に行く、「この先になにかあろう このみち」とは歌い手それぞれにとってどんな道でしょうか。石若さんの親しみのある名作曲でうたいます。

□ 「さとうきび畑」；千秋団長の持ち歌を、次回コンサートの「沖縄支援」のコーナーの目玉の曲のひとつとして楽譜を提供して頂きました。爆撃機の爆音（または戦車の爆音）と爆弾の炸裂音で戦場のただなかにいるかのようなピアノ前奏ではじまる、心を移入できる尾上和彦編曲で歌います。

中村声楽教室や T1T2 のパートレッスンでご指導をいただいている中村聖保先生から、「日うた In 愛媛」での、昴の「銅賞」受賞にお祝いのメールをいただきました。ありがとうございました。（団員向けメッセージとして少しだけアレンジさせてもらいました）――

銅賞、昨年に引き続き、おめでとうございます。

14日、第一報が 昨年の結果の誤報で本当の情報が届くまで、ドキドキしました（‘◇’）ゞ

本番、気持ち良く歌われたとのこと、何よりです。

体調崩され、愛媛に行けなかったメンバーさんもおられ、行けなかった方は残念だったとお察ししますが、いつも 昴は 気持ち 1つ！個々に思いは いろいろあれど、団結！

素晴らしい男声合唱団だと感じています。

日頃の努力、情熱、目標への意識 結果につながって、良かったですね！

また、次の目標に向かってください。 おめでとうございました。

## 「労働者の合唱」、「さとうきび畑」他をレッスン

□ 11月20日（日）の定例レッスンは、佃さんの体操、千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、伊藤副指揮者の指揮で「さとうきび畑」、本並先生の指揮で、「労働者の合唱」、「君死にたまふことなけれ」と「このみち」の4曲をレッスンしました。ピアノは森二三さん。参加は全32名でした。



□ 「さとうきび畑」はレッスンに先立ち、千秋団長にソロで歌っていただきました。心のこもった演奏で、このように歌いたいと思いました。

□ 「労働者の合唱」は「歌劇沖縄」の二幕二場で歌う労働者の合唱で、次回コンサートの「沖縄に心を寄せる」コーナーの目玉曲の一つです。沖縄返還を勝ち取る闘争の中での集団創作で生まれた曲で、当時と変わることのない状況に対する基地反対闘争の支援となる力強い歌です。

□ 当日はレッスンに先立ち運営委員会が開かれ、議事報告がレッスン時に配布されました。また、第16回総会の議事録（書記；山本力さん）がすでにメールでは配信済みですが、改めて印刷物として配布されました。

□ 次回コンサートの会場として最有力の「豊中芸術センター」は来年12月分が、いよいよ、この12月1日に抽選となります。榎本さん（豊中市民）と伊藤さんに当日、申込、抽選に臨んで頂きます。当選しますように。

### 奥村克美ギャラリー



上；道後温泉本館(坊ちゃん湯)

右；東大寺二井堂境内

